

トークセミナーと交流会 東京

T.D.A事業教育、交流、広報が共同で主催するセミナーが開かれた。パネラーには、ファッション産業、及びテキスタイル産業に詳しい3人の方々をお招きし、T.D.A副理事長のわたなべひろこの司会進行で行なわれた。セミナー後には、ワインを飲みながら講師の方々と囲み、T.D.A会員との楽しい交流会を催した。これからも、このようなセミナーを計画しているので、会員の皆様方にはぜひ参加してほしい。尚、セミナーの概要は以下の通りである。

日時 1996年10月4日(金)
セミナー 15:00~17:00

場所 (株)ワコールアートセンタースパイラル6F

■テーマ 『未来を生き抜くテキスタイルデザイン-21世紀への課題-』
■ゲストスピーカー 久田尚子(東京ファッションデザイナー協議会議長)
三島 彰(現代構造研究所所長T.D.A顧問)
森山 亨(桐生地場産業振興センター専務理事
T.D.A顧問)

コーディネーター わたなべひろこ (T.D.A副理事長)



久田 | 40年間ファッション雑誌の編集に携わってきた。振り返ってみると50年代から60年代にかけては、東レや帝人、旭化成等の繊維商社が流行を作った時代で、60年代中にモリハナエ、イッセイ、ケンゾー等を中心にCFDの会員45名の協会がスタートし、DCブランド時代の萌芽期を迎える。それは、自分の特徴を出す、形になる服作りを目指し、小さなショップからスタート、やがてプレタポルテの開始を迎え70年代中頃からの10年は、アパレルデザイナーとテキスタイルデザイナーが共にファッションを創出した時代だった。当時のファッションコピーには、ウール~%とかレーヨン~%等のキャッチコピーの時代でもあった。80年代中頃からは、言わゆる経済成長がバブル期に入り、デザイナーのコンテストブームの時代を迎えた。

又、アパレルデザイナーがフォルムだけでなくテキスタイルデザインの重要性を再認識するようになった。

最近、愛知県三河の産地活性化の仕事をしているが、当産地の素材を使ったコンテスト『テックスビジョン三河』の参加作品を見ると、素材を無視したデザインが多い。つまり素材を上手く生かした服作りがなされていない。アパレルデザイナーが優れた創作をするには、テキスタイル(素材)をどう生かすかが重要である。若いデザイナーはその意識はあっても、資金がないのでテキスタイル素材の開発に踏み込めない事情もあるのではないかと。そのようなファッションデザイナーとテキスタイルデザイナーがもっと交流を深めることにより、日本のアパレルデザイン、又、素材産地の活性化が多いに計れると思う。

三島 | 東京ファッション協会10周年を記念して『東京テキスタイルデザイン展』を開催した。今までは、テキスタイルを売るための展示会とか過去の変遷を見せる展示、あるいは古典的名品の展示会等、展示会はいろいろあったが、今回は、現在の仕事、先端的テキスタイルの発表コンテストで初めての試みだった。産地(工場)から遠い東京でのコンテストは基軸が無いので、何が集まるか不安だったが、400点以上も集まりグレードの高い作品が多いのに驚いた。特に女性の進出が目立ち、受賞者のほとんどが30代の女性だった。これまでは、産地の工場では男性が中心だったが、石川県の小松では「ラクロスマンカ」ーイタリア語で女性の仲間の意、という女性の集まりができ産地を盛り上げている。このように女性の感性を生かしたデザインが、今後も楽しみだ。

森山 | 日本の繊維技術の集積には素晴らしいものがある。しかし、テキスタイルデザインに関わる人達は、その恩恵に浴していないのではないかと。

現在、日本は輸入の増大やライセンスビジネス等の影響で、テキスタイルデザイナーが追いつめられている。それは何故なのか。最近の輸入の増大とは、イタリアのリラと暴落のせいばかりではなく、むしろ日本のアパレルの貧弱さを露呈していることになる。そこで日本とイタリアの違いはどこにあるのか。イタリアの産地を数多く見てきた。イタリアの製品、テキスタイルには人気があるが、実態は8割以上が日本の外注基準から外れているのだが、良い物ができるのもやはりイタリアである。それは何故か。イタリアには、良いものとそうでないものを区別する生産基盤がある。(産地の人がそれを理解している)。日本のような、キズがいくつあるか調べるような検査基準ではない。イタリアの検反は発注者が行なう。つまり、日本の検査適合性に対して、イタリアは目的適合性に重点を置く。又、産地はコモなど、コミュニケーションが全てにとれている。そして産地自身が文化的にも良い目を持っていて、良い物を知っている。日本の繊維産業は、工業技術的にはレベルが高いが、消費者ニーズにマッチするかどうかについてレベルが低い。日本では良い物を作っても評価してもらえず、それよりも値段や能率本位になる。

